

地域の賑わいから得た収益を活用した道路景観の継続的な維持管理のしくみづくり社会実験（岐阜県高山市）

1. 実験実施の背景

- ・「古い町並」の下町地区は、地区の活力が低下
- ・上町地区には観光車両及び観光客が集中、観光客（歩行者）と観光車両の輻輳による交通混雑と安全確保が課題
- ・高山祭（屋台行事）がユネスコの無形文化遺産の構成資産のひとつに登録、屋台会館がある下町が再び注目との期待

2. 検証項目

- ① 賑わいの創出による町並・景観維持等に関する仕組み検証
- ② 賑わい事業の成果検証
- ③ 交通規制の成果・課題検証
- ④ 外縁部駐車場の誘導や二次交通利用促進による交通分散
- ⑤ 下町地区から上町地区への回遊状況の検証

3. 今回の実験内容及び結果

【実験地域】 高山市の上町地区及び下町地区

【実験内容】

- ①道路景観維持管理の仕組みづくり
 - ・道路空間や町並・空家・空店舗を活用した賑わいの創出の試行
 - ・道路空間を活用した町並・道路景観形成活動の検証
 - ・車両交通規制の試行
- ②下町地区から上町地区を巡る案内誘導
 - ・高山ICから不動橋駐車場への案内誘導
 - ・不動橋駐車場から下町地区への誘導と上町地区への回遊
- ③外縁部駐車場や二次交通の利用促進による交通分散
 - ・外縁部駐車場の利用特典の付与
 - ・二次交通の試行

【実施期間】 平成28年10月1日(土)～平成28年11月3日(木)



図-1 位置図



図-2 下町地区



図-3 上町地区



図-4 観光客と車が輻輳

4. 検証結果

- ①賑わいの創出による町並・景観維持等に関する仕組み検証
 - ・オープンカフェやベンチ設置について、**観光客からの意見は好意的(約8割)**
 - ・住民からは実施時期の見直しや継続して実施すべき等の意見が寄せられた
- ②賑わい事業の成果検証
 - ・オープンカフェ等を実施したことにより、**来客・売上ともに増加した**
 - ・沿道店舗から、町並み・景観を維持するための協力が得られる可能性を得た
- ③交通規制の成果・課題検証
 - ・**歩行者の流入量が約2倍に増加した**
 - ・通行規制、駐車場の案内の徹底が必要との意見が寄せられた
- ④外縁部駐車場の誘導や二次交通利用促進による交通分散
 - ・**不動橋駐車場の1日あたりの利用台数が、約2.5倍に増加**
 - ・「まちなみバス」は一定の利用者があり、取組としての効果を確認
- ⑤下町地区から上町地区への回遊状況の検証
 - ・不動橋駐車場利用者の多くが下町地区を来訪する傾向を確認
 - ・下町地区の来訪者が上町地区にも訪問していることを確認

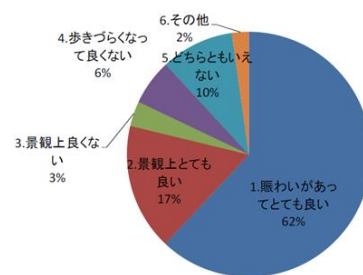


図-5 観光客アンケート (不動橋駐車場利用者)

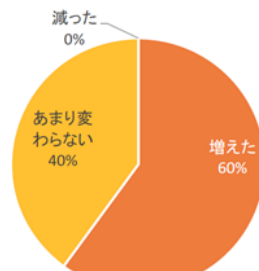


図-6 売上の変化 (出展者アンケート)

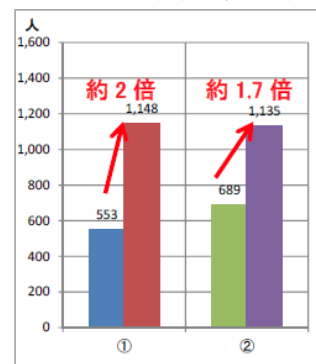


図-7 歩行者調査結果 (下二之町)

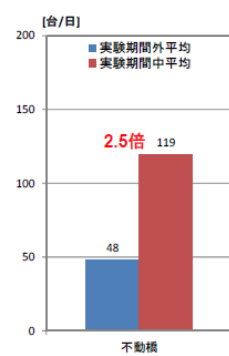


図-8 駐車場利用台数 (1日あたり)

5. 実験後の展開、明らかになった課題等

- ①賑わいの創出による町並・景観維持等に関する仕組み検証
 - ・今後同様の取組を実施するためには住民との合意形成が重要(住民主体の実務体制を整備)
- ②賑わい事業の成果検証
 - ・準備期間が短くPRが十分ではなかった。今後、対象エリアを下二之町以外の下町地区にも広げて実施する予定
- ③交通規制の成果・課題検証
 - ・準備期間が短く住民へのPRが不十分だったため、本格実施に向けてきめ細やかな住民とのコミュニケーション作りが必要
- ④外縁部駐車場の誘導や二次交通利用促進による交通分散
 - ・上町地区の神明駐車場の混雑は解消されなかった
 - ・まちなみバスの利用が少なかった(町並みを散策して戻る観光客が多かった)
- ⑤下町地区から上町地区への回遊状況の検証
 - ・「古い町並」全体のまち歩きモデルルートの設定